

別紙 1

水産加工業販路共創加速化事業費補助金 事業計画書

1 補助事業者（販路共創主体）の概要

名 称	水産業振興株式会社	
住 所	仙台市青葉区本町三丁目 8-1	
代表者	宮城 花子	
連絡先	住 所	〒 980-8570
	役 職	営業部長
	氏 名	宮城 太郎
	TEL	022-211-2954
	FAX	022-211-2939
	E-mail	suishihk@pref.miyagi.lg.jp

2 統一ブランド等により共同販売を行う水産加工事業者

	事業者名	市町村	従業員数	売上高	他の構成員との資本関係	
1	水産業振興株式会社	仙台市	20	〇〇〇〇	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	△△株式会社との資本関係
2	〇〇株式会社	石巻市	15	〇〇〇〇	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
3	△△株式会社	仙台市	10	〇〇〇〇	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	水産業振興株式会社との資本関係
4	□□株式会社	気仙沼市	20	〇〇〇〇	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
5	○■株式会社	石巻市	25	〇〇〇〇	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
6					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
7					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
8					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
9					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
10					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(欄が足りない場合、別紙として差し支えありません)

相互に資本関係のない 水産加工業者数	4 社	補助申請上限 3 者：1,500,000 円 4 者：2,000,000 円 5 者以上：2,500,000 円
-----------------------	-----	-------------------------------------------------------------------

3 事業（共同販売）計画の概要

(1) 事業の目的

海外展開や国内販路開拓を強化するため、5者が協力して商品開発を行い、統一ブランド「MIYAGI」として販売を行う。製造・販売等をグループ間で連携・集約することで販売力の強化を図る。本県産ワカメと銀ざけを主原料とし商品開発を行い海外ニーズにあった商品開発を行い販売する。また、国内では関西方面でも販路開拓を行う。

(2) 全体計画

台湾やシンガポール等の東南アジアへの輸出の取組を強化するとともに、国内については、従来の首都圏に加え関西方面でも販路開拓に取り組む。具体的には、9月までに新しいブランドの商品を開発し、台湾で開催される〇〇商談会にも参加して売り込みを行う予定。また、関西圏については、地元の小売店等に積極的に営業活動を行い新たな販売先の開拓を行う予定。

(3) 販路共創主体が統一ブランド等により共同販売する製品 別紙のとおり

4 事業実施期間

平成29年8月15日 から 平成30年1月31日まで

5 経費の内容

(単位：円)

項目	主な内容	事業費	補助金申請額	自己負担額
人件費	海外、首都圏等での営業活動費	1,000,000円	/	/
旅費交通費	営業活動に伴う旅費	1,000,000円		
研究開発費	共通ブランドの製品パッケージ開発に係る経費	1,000,000円		
庁費	商談会出展に係る経費	1,000,000円		
計		4,000,000円	2,000,000円	

※事業費積算の内訳書（別添）及び見積書など積算の根拠となる書類を添付すること。

6 事業の効果

本事業を活用することで、各事業者単位で行っていた営業活動を集約化することが可能となり、新たな販路開拓に向けた取組を円滑に行うことが期待される。さらに、グループ各社の商品を取りまとめることで、安定的なロットの確保が可能となり、販売量や販売額の向上が期待される。

別紙 販路共創主体が統一ブランド等により共同販売する製品について

製 品 名	MIYAGI ワカメ No1	
販 売 者	水産業振興株式会社 (構成員 NO) 1	
製 造 者	事 業 者 名	〇〇株式会社, △△株式会社 (構成員 NO) 2, 3
	製造所固有記号	〇〇〇〇〇〇 (届出年月日) H〇〇. 〇. 〇
	従前	本計画
製造・販売方法	本製品は, 〇〇株式会社が製造・販売を行っていた。	従来製品に改良を加え, △△株式会社も参画し製造を行う。 販売は, 水産業振興株式会社が注文をとりまとめて行い海外や関西圏にて販路開拓を行う。
販売数量・金額	数量 〇, 〇〇〇 t 金額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 期間 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	数量 〇, 〇〇〇 t 金額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 期間 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日

製 品 名	MIYAGI 銀ざけ No1	
販 売 者	水産業振興株式会社 (構成員 NO) 1	
製 造 者	事 業 者 名	□□株式会社, 〇■株式会社 (構成員 NO) 4, 5
	製造所固有記号	〇〇〇〇〇〇 (届出年月日) H〇〇. 〇. 〇
	従前	本計画
製造・販売方法	本製品は, □□株式会社が製造・販売を行っていた。	従来製品に改良を加え, 〇■株式会社も参画し製造を行う。 販売は, 水産業振興株式会社が注文をとりまとめて行う。
販売数量・金額	数量 〇, 〇〇〇 t 金額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 期間 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	数量 〇, 〇〇〇 t 金額 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 期間 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日

※用紙が足りない場合, 本用紙を複写して使用してください